

第4学年 総合的な学習の時間 活動略案

令和7年11月21日 5校時
4年3組 32名

1. 単元名「染め物プロジェクト」

2. 本時のねらい

今までの染料作りで探究してきたことを生かし、課題を明確にしたうえで、作り方を試行錯誤しながら身近な材を使った草木染め活動の楽しさを味わうようにする。

3. 教師の願い

○色を濃く出すことで模様をはっきり付けたいという思いをもち、これまで3回実践してきた草木染めの知識や経験を生かしてほしい。

○友達や参観者と、積極的に関わってほしい。

4. 前時の様子

前回まで、本時に向けて染料とする材料や作り方、下処理の方法などを探究し、当日の工程表について、各グループで相談しながら作成している。

5. 本時の展開(34/52)

主な学習活動(予想される子どもの思い・願い・考え)	○…留意点等	評…評価
季節の材料を使って草木染めをしよう！		
1. 本時の流れを確認する。 C: 前回よりいい色に染めたい。 C: 先生方にも活動を見てもらいたい。	○見通しをもって計画的に取り組むように声掛けをする。	
2. グループに分かれて作業開始。 C: 前回よりも色が濃くてた。 C: あまり色がでないから水を減らそうかな…。 C: ミヨウバンたしてみる？ C: はっきり模様がつくように強くしばってみよう。	○怪我をしないように、安全に気を付けながら活動するように声掛けをする。	
3. 完成した布を教室に干す。 C: ちゃんと模様が付いた！ C: 前回よりも濃く色が付いた。 C: 乾いたあと、色が抜けないといいな。 C: 友達のグループと比べてどうかな。	○友達や先生方に見てもらって感想を聞いたりアドバイスをもらったりし、次の活動に生かせるようにする。	
4. お客さん(先生方)に見てもらい、感想を聞いたり、アドバイスをもらったりする。 C: 見た目について先生たちから感想を聞きたい。 C: 完成した作品も見てもらいたい。	○次の活動で生かせることはないのか、考えられるような声掛けをする。	
5. 片付けをする。	○自分が探究したことを生かして、草木染めをするために、自分なりに考えながら行動している。 【思・判・表】(観察・ロイロノート)	
6. 本時の活動を振り返り、次時の計画を立てる。	○本時の活動を振り返り、感想や考えたことを共有する。次回、どんな活動をしていくかを考える。	